2016（平成28）年７月２日　第40号

福島教区報

天理教福島教務支庁
〒960-8022 福島市新浜町７番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404
教会数　123ヶ所
布教所数　113ヶ所
よふぼく数　3461人
（R178.12月末現在）

年祭後、初の全教行事『全教一斉ひのきしんデー』を開催

４月29日、「伝えよう感謝の心　広めよう喜びの和」をテーマに「全教一斉ひのきしんデー」が日本国内各地で実施され、福島教区管内では15会場で407名（内教会長66名）が参加した。

ひのきしんに勤しむ姿をもって教祖にお喜びいただき、年祭の年にふさわしいひのきしんデーとなるようにと呼びかけがなされてきた今回。実施会場も昨年より２ヶ所増やして、より参加しやすいようにと計画されてきた。

ひのきしんデーの前日は、県内全域で雨。当日も雨が残る地域がある予報が出ており、判断の難しい空模様となった。残念ながら、相双支部や耶麻支部の喜多方会場では雨天のため中止となったが（喜多方会場は５月６日に順延）、いわきや中通りでは朝には雨も上がり、その他の会場でも時折小雨が降る程度まで天候も回復し、無事に実施となった。それぞれの会場では、小さな子供から年配の方まで、報恩の思いいっぱいに勇んで、それぞれにできるひのきしんに取り組む姿が見られた。

（Z）

全教一斉 ひのきしん

いわき支部

震災後、使用不能となっていた松ヶ岡公園が今春、リニューアルオープン。2年ぶりに、ひのきしんデーの会場となり、大勢の教友が勇んでつとめた。

子供もひのきしん（福島支部）

建物周りの除草と建物内の清掃（会津支部）

◎福島教区管内ひのきしん参加者内訳◎

福島	特別養護老人ホーム「ファミーユ」	除草、清掃	55名
安達	県立霞ヶ城公園	除草、清掃	31名
	蛇ノ鼻遊楽園	除草、清掃	13名
郡山	ＪＲ郡山駅前	除草、清掃	39名
	ＪＲ磐城守山駅周辺	除草、清掃	2名
田村	三春民俗資料館周辺	除草、清掃	33名
耶麻	川桁・熊野神社	除草、清掃	10名
	喜多方市・桜ヶ丘公園（5月6日に雨天順延）	除草、清掃	16名
	坂下・台ノ宮児童公園	除草、清掃	9名
	猪苗代・亀ヶ城公園	除草、清掃	13名
会津	会津若松市少年の家	除草、清掃	54名
	墓地	除草、清掃	9名
	南会津町・永田林業センター及び周辺	除草、清掃	3名
いわき	特別養護老人ホーム「ハートフルなこそ」	除草、清掃	19名
	松ヶ岡公園	除草、清掃	101名
相双	新地町木崎公会堂	除草、清掃	雨天中止

※5月6日教区布教部の集計より

教区祭

4月2日、教務支庁に於いて、恒例の「教区祭」が開催され、管内教会長を始め、教信者の方々、約190名が参加した。

まず、5期目を迎えた平澤教区長が、思いを込めて力強く祭文を奏上。その後、8交替で十二下りのおつとめが、一人ひとり真実をこめてつとめられた。

御礼の参拝後、教区長より新たな任期への抱負を込めてのあいさつがあり、今春の職制人事で今後3年間、務めることとなった主事、各支部長、各部各会の長が紹介された。

その後、全員でDVD「ビバ　コロンビア」を視聴し、ぢばから遠く離れた海外で活躍するようぼくの姿に刺激を受けた。

最後に、少年会より、4月18日に218回目のお誕生日を迎える教祖へ花束が献じられ、少年会員がお祝いの言葉を述べた。そして全員で「教祖おうまれ」「親神様の守護」の2曲を歌い、誕生日のお祝いをした。

おつとめの後、新役職者が紹介された。

教区祭に合わせて　少年会春祭り　開催

少年会

4月2日、教区祭にあわせて、少年会（近藤直光団長）では、春まつりを開催。参加した少年会員は、教区祭で『よろづよ八首』をつとめ、「かえるピョンピョン飛ばし大会」を楽しんだ。

少年会かえるピョンピョン飛ばし大会

少年会員が教祖へお祝いのごあいさつ

少年会

「少年会創立50周年」巡回

昭和41年に発足した「天理教少年会」は今年で創立50周年の節目を迎える。その旬にあたり、各直属、教区へと巡回が行われているが、福島教区では5月1日午後5時半より、教務支庁にて、少年会本部委員・原田栄伸先生にお越しいただき、教区団の新・旧委員12名で、少年会創立50周年と教祖130年祭こどもおぢばがえりを迎えるに当り、親の思いを聞かせていただいた。

その中でも芯は、「年祭の神殿講話や2月の幹部会のお話しの中で、真柱様は、一貫して人材育成を強く仰せ下さった。先ずは私たち少年会から、しっかりと子供達に信仰の喜びを伝え、お道に繋げていかなくてはならない。」ということであった。

今年の「教祖130年祭こどもおぢばがえり」には、「帰参する少年会員の大増員」との打ち出しもあり、巡回のお話しの後、育成委員との練り合いの時間を設け、先生と共々、これからの動きや、自分達の心の持ち方など充実した話し合いができた。

原田先生には、翌日も、教区例会前に、教区役職者に巡回のお話をしていただき、少年会の思いを伝えていただいた。

（N・K）

教区例会前に役職者へお話をする原田委員

教区総出ひのきしん

5月19日（木）、教務支庁で恒例の「教区総出ひのきしん」が実施され、45名が参加した。

建物周りの除草と建物内の窓拭きを、それぞれに分かれて行った。日差しが暑く感じられる中、心地よい汗を流し、昼過ぎには内外ともにすっきりときれいになった。

暑い中、勇んでひのきしんに励む

雅楽演奏

5月28日（土）、会津地方の教友を中心に構成される「会津天雅会」（二瓶善一郎代表）が、磐梯町の慧日寺跡で4回目となる「春の雅楽演奏会」を行った。

今年は、約500名の聴衆を前に、管絃『越殿楽』『ふるさと』に加え、舞楽『蘭陵王』を演じた。

特設の舞台で舞楽を演じる。

基礎講座

5月29日（日）、福島テルサで、第19回基礎講座・福島会場を開催され、26名が受講した。講師の杉澤元和先生（若會分教会長）は、昨年、基礎講座本部講師に登用され、福島会場は今回が初めての出講となった。また、今春、教区職制人事も新たになり、今回2名の女性スタッフが初めてつとめた。

講師・杉澤元和先生（若會分教会長）

今回は日柄もよく、直属教会の行事と重なり受講者数が少ないのではと危惧されたが、いざ講座開始間近になると、次々と受講者の方が来場された。その中に、社会的な繋がりから、毎回といっていいほど一般の方をお連れして来られる教会長さんの姿があり、今回も6名の方をお連れして受講してくださった。また、教会から会場まで1時間以上の道程を運転して、一人ででも毎回受講されておられる教会長さんの姿もあった。このお二人の先生方の姿を見て、どちらも基礎講座に対する思いは一緒だなと改めて感じさせていただいた。

平澤勇一教区長先生は、常に「基礎講座はにをいがけである」とわれわれにお話しくださる。そのお言葉を忘れることなく、受講者1千名という次なる目標に向けて一手一つにつとめさせていただきたい。

（M・Y）

婦人会

福島教区「婦人会総会」開催

福島教区婦人会（平澤栄美主任）では、6月3日、教務支庁で「立教179年度福島教区婦人会総会」を開催。130名の婦人会員が参加した。

第1部では、座りづとめと十二下り総立ちのてをどりをで勇んでつとめた。

引き続き第二部・式典が行われた。

記念講演講師・宇恵義昭先生

会務報告の後、婦人会本部よりのお祝いの言葉を教区主任が代読。教区主任あいさつ、教区長の祝辞の後、誓いの言葉では、婦人会の活動方針を全員で唱和した後、会員代表で梅井直美・いわき支部主任が実のようぼくに育ち育てる様つとめることを誓った。

昼食後は、宇恵義昭先生（共成分教会前会長）を講師に、第三部・記念講演があった。先生はまず、ご自身の天理教に反発していた子どもの頃のことを話された後、『人にこう言われた。』『こうされた。』と思いながら暮らしていては陽気ぐらしはできない。過去にとらわれずに、一日一日、楽しんでいる姿を子どもにうつしていくように。」と話された。そして、少年院で罪を犯した少年達と関わってきた中で、夫婦・家庭の治まりが一番大事になってくることを学んだと述べられ、結婚すると「婿6＋嫁4＋子供2＝12」で十二分の幸せになるとされた。そして小さい時のことは一生関わってくる。尽した物は腐らない。今起こっている姿を確認するよう促された。そして最後に、「教祖は『先を楽しめ、楽しめ。』と仰ってくださる。笑顔で日々、通ってください。」と述べられた。

先生は黒板を使い、時にユーモアを交えて話され、参加者は最後まで熱心にお話に聞き入っていた。

総立ちのおつとめ

雅楽慰問公演

仮設住宅で雅楽演奏

6月29日（水）午後2時から約1時間、津大教会の楽人6名が、二本松市にある浪江町岳下仮設住宅にて雅楽の慰問公演会を開催した。初めに簡単なハンドゲームでリラックスしてもらい、次に雅楽伝承の由来を説明し、曲目は『越殿楽』、『陪盧』、『ふるさと』、『紅葉（もみじ）』を演奏した。集まって下さった方は自治会長、副会長を含め15名ですが、初めて生演奏を聞く方がほとんどで、アンコールがでるほど、日本古来の調べに大きな喝采があった。

なお午前中は、福島教務支庁で、福島教区の楽人と、11月に三重県総合文化センターで開催される「福島復興支援チャリティーコンサート」（津大教会主催）に向けて、合同練習を行い、舞楽『蘭陵王』を中心に指導をいただいた。

（Z・N）

いわき支部

「ようぼく成人講座」開催

6月19日(日)、いわき支部（木島勇道支部長）では、「ようぼく成人講座」を磐城平大教会で開催し、50名が参加した。いわき支部では「道の将来を担う人材の育成」と「ようぼくネットワーク作り」を掲げて活動を進めており、今回、そのキーワードとなるひのきしんの意識を高めようと開催された。

「たすけあい社会に向けて、私たちにできること」をテーマに独自のプログラムを活用し、案内人として勿来地区ボランティア連絡会会長の木島勇道氏から、さまざまな活動や実践例を提供していただいた。そしてそれらの話を参考に、今度は参加者自身ができるひのきしん活動について、またさらに進んでたすけあい社会実現に向けての話し合いを持った。

「期待通りの成果が得られたかは分かりませんが、それぞれがひのきしんについて真剣に考える機会を持ったことは、今後の活動に繋がると信じてます。」

（木島支部長）

・・・・・・・・・・・おぢばでの行事・・・・・・・・・・・

少年ひのきしん隊本部練成会

【日時】　7月29日（金）～8月7日（日）
【対象】　わかぎ（中学生）で教区団育成会長が推薦する者。特に教会長子弟の率先参加を望む
【費用】　25,000円（支部助成を含む）

第59回道の教職員　夏の集い

【日時】8月7日（日）～8日（月）
【会場】天理小学校・天理教校学園・他
【内容】真柱様お言葉
教育講演①（講師・松浦新吾郎氏）
教育講演②（講師・水谷　修氏）、
分科会、グループトークなど

・・・・・・・・・・・東北ブロックの行事・・・・・・・・・・・

Work & Talk 2015 in 岩手

【日時】　8月29日（月）～8月30日（火）
【対象】　大学生・大学院生
短大生・専門学校生
【会場】　国立岩手山青少年交流の家
【費用】　1,000円
【内容】　グループワーク、ねりあい等

青年会　東北ブロック大会 in 宮城

【日時】　9月3日（土）～4日（日）
【対象】　男女とも40歳位まで
【費用】　青年会員3,000円、女性　2,000円
【内容】　荒浜海岸及び
東日本大震災慰霊碑周辺
ハートクリーン
【宿泊】　エスポール宮城

・・・・・・・・・・・福島教区内の行事・・・・・・・・・・・

きょういく講演会

【日時】　7月10日（日）
【会場】　いわき市社会福祉センター
【講師】　田中直行先生（天理小学校教諭）

成人塾

【日時】　8月16日（火）～17日（水）
【対象】　小中学生
【会場】　福島教務支庁
【費用】　300円

天理教基礎講座（福島会場）

【日時】　9月22日（祝）午後1時30分～
【会場】　いわき駅前ラトブ6階
【受講御供】　500円

【日時】　11月13日（日）午後1時30分～
【会場】　福島テルサ
【受講御供】　500円

まなびば

【日時】　8月18日（木）～19日（金）
【対象】　高校生
【会場】　国立磐梯青少年交流の家
【費用】　500円
【内容】　グループワーク、ねりあい等

おやこキャンプ練成会

【日時】　8月18日（木）～19日（金）
【会場】　国立磐梯青少年交流の家
【費用】　500円
【内容】　野外炊飯・花火大会・
魚つかみどり大会など

道の学生ひのきしんデー

【日時】　9月19日（月・祝）
【会場】　福島教務支庁周辺
【テーマ】　感謝して、身近な友とつながろう！
【内容】　ごみ拾いdeウォーリラリー

福島教区ホームページ　「天理教福島教区」で検索！
Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp